

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年10月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
〒600-8027 京都府京都市下京区河原町通松原下る難波町412

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社京栄商会 木下喜隆

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社京栄商会 木下喜隆
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	〒600-8027 京都府京都市下京区河原町通松原下る難波町412

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社京栄商会 滋賀営業所					
事業所の所在地	〒520-3041 滋賀県栗東市出庭531-3					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	5	5	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	電設資材卸業					
従業員の数	8	人	作業時間	8	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	0	台
	照明設備	65		台		
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	2	台
			その他			

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2024	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

弊社が扱う商材の多くが、省・畜・創エネルギーに深くかかわっています。ゆえにCO₂ネットゼロ社会に向けて弊社が社会に貢献できる場面は多く、また存在意義が大きいと考えます。この取組みに積極的に参画することで、CO₂ネットゼロ社会づくりにさらなる貢献ができると考えます。

2 取組の推進体制

社長を筆頭に総務部長・各営業所所長より、各々の事業所でできる取組みを目標に掲げて目標と成果など定期的に報告している。

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

①京都府宇治市にある、宇治槇島営業所の屋根に太陽光発電設備を設置し年間48000kwhの電力を創りだしています。②京都府「京-VER創出促進事業」・および京都市「京都市省エネ・節電設備整備事業」の補助金を積極的に活用し、事業所のLED化や空調機器の省エネ化などの取組みを行っています。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明器具のLED化	24年1月～	すべてLED実施
2	設備導入	空調機器更新に伴う省エネルギー化	24年1月～	すべての空調機器の省エネルギー化実施
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の10%減少を目指す	23年12月～	社内書類のDX化により10%減少達成
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
照明器具のLED化および空調機器更新による省エネ化だけでなく、照明のこまめな入切や空調の温度設定による電気使用量の50%以上の削減を目指していきたい。	目標50%の削減を目指したが前年比較で24.4%の削減にとどまった。未達要因として職場環境の改善策として社員の足元にヒーターをいれたことや熱中症対策としてエアコン設定温度を低く変更したことが考えられる。引き続き可能な限り削減に努めていきたい。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(24)年度	(25)年度	(26)年度	(27)年度	(28)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2	2			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3	2			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					